

平成 23 年 度

〔平成 23 年 4 月 1 日から
平成 24 年 3 月 31 日まで〕

第 56 期

事 業 計 画

収 支 予 算

財団法人 メトロ文化財団

平成23年度（第56期）事業計画

〔平成23年4月 1日から
平成24年3月 31日まで〕

当財団は、地下鉄博物館の管理・運営のほか、交通文化事業、交通マナー事業等を推進し、東京メトログループにおける社会貢献活動の一翼を担う企業財団として、グループ価値の向上に寄与するよう努めております。

平成23年度（第56期）は、以下のとおり各種事業の一層の拡充を図ってまいります。

1 博物館事業

地下鉄に関する資料等の展示、解説及び案内を通じて、お客様、特に小・中学生など若い世代の方々に、地下鉄に関する知識の普及と理解を深めていただくため、以下の事業を行います。

(1) 博物館の企画行事

本年度における特別展、イベント等を以下のとおり計画いたしております。

ア 特別展の開催

(ア) 「地下鉄を支える人々展」(仮称) 平成23年6月～8月に開催予定

地下鉄を走らせるためには、運転士、車掌、駅員などの存在は不可欠ですが、その他にも普段あまり目にすることが少ない、列車の運行管理をする人、車両を整備する人、線路やトンネルを守る人、電気関係設備を守る人など様々な人達が、昼夜を問わず業務に励んでいます。

今回の特別展では、これらの縁の下の力持ちとなっている人達にスポットを当て、どれくらいの人々がどんな仕事を行っているのか、仕事に必要な工具類の展示と併せて、パネルやビデオ映像等で紹介いたします。

(イ) 「地下鉄ふしぎ発見展」(仮称)

平成23年11月～平成24年1月に開催予定

日本に地下鉄が開業してから今年で84年目となりますが、地下鉄の建設・開業の歴史を重ねる中で、色々な出来事や数々のエピソードが存在しています。

今回の特別展では、これら地下鉄にまつわる事柄のうち分からないこと、不思議に思ったことなどを取り上げ、地下鉄のことを少しでも理解していただ

るような展示にしたいと考えています。そのために、テーマや事柄などの抽出に際しては、来館者からの質問内容の整理を行うとともに、鉄道教室などの機会を捉え、お客様が普段から知りたいと思っていることなどの情報を収集し、より身近な展示構成といたします。

(ウ)「丸ノ内線全通50周年記念展」(仮称)平成24年3月～4月に開催予定

1962年(昭和37年)1月に南阿佐ヶ谷～荻窪間が、同年3月には中野富士見町～方南町間がそれぞれ開業し、池袋～荻窪間24.2キロ、中野坂上～方南町間3.2キロと丸ノ内線が銀座線に続いて第2番目の全通開業してから50周年を迎えます。

今回の特別展では、50周年を記念して開業の歴史、時代背景などを中心に丸ノ内線を紹介いたします。営団地下鉄となって初めての新線建設となった丸ノ内線は、戦後復興の象徴的事業であり、山手線ターミナルから内側の都心方向へのアクセスとして重要な役割を果たしています。また、斬新なデザインと電気ブレーキ等の技術を導入した300形車両は、その後の鉄道車両の発展に大きく寄与したと言われていています。今回は50年を振り返り、丸ノ内線の変遷を紹介いたします

イ イベントの実施

入館したお子様に楽しんでいただけるよう、各期間において以下のイベントを行います。

- (ア) 春休み、ゴールデン・ウィーク行事(各種ゲーム大会、地下鉄建設記録映画、アニメ映画上映など)
- (イ) 夏休み行事(お盆休みを中心に各種ゲーム大会、アニメ映画上映など)
- (ウ) 鉄道の日行事(HOゲージ模型電車運転会、子供鉄道セミナーなど)
- (エ) 冬休み行事(各種ゲーム大会、地下鉄建設記録映画、アニメ映画上映など)

ウ 教育実習活動

博物館実習(学芸員資格取得のための実習)、チャレンジ・ザ・ドリーム(近郊の中学校からの要請による職場体験学習)等の教育実習活動を受け入れます。

(2) 地下鉄関連資料の収集、保管及び貸出し

東京メトロ及びグループ各社等が保有する各種資料、写真等を継続的に収集、整理、保存するとともに、資料のデータベース化を進めていきます。

更に、これまでにデータベース化した貴重な資料が広く活かされていくよう活用方策としてアーカイブサイト等の立ち上げに努めていきます。また、自治体や学校

等から要請があった場合には、所蔵資料などの貸出しもいたします。

(3) 展示物の更新及び施設の改良等

内容的に現状に合わなくなったパネル展示物等や開館以来使用し、老朽化してきたキュービクル式高圧受電設備等について更新工事を行います。また館内の照明器具類についても熱効率の良いエコ対策として工事を実施いたします。

(4) 新規商品の開発と販売

入館されたお客様から要望が多い博物館オリジナル商品の開発を積極的に行い、お客様に喜んでいただき来館記念となるよう努めます。

本年度も博物館の管理・運営については、なお一層多くのお客様に来館していただけるよう、駅貼りポスターやホームページ、携帯サイトなどの媒体を通じて特別展や各種イベント等を紹介するとともに、テレビ局、新聞社・雑誌社等メディアの取材、インタビューに積極的に対応し、博物館のPR活動を推進いたします。また、「ぐるっとパス」及び「メトロ&ぐるっとパス」についてもご利用できるよう継続いたします。

2 交通文化事業

以下のとおり音楽会、絵画展、写真展などの交通文化事業を行います。

(1) メトロコンサートの開催

青少年への音楽文化の普及を図る文化活動の一環として、メトロコンサートを地下鉄博物館ホールにおいて開催いたします。

(2) 「メトロポリス・クラシックス」コンサートの開催

気軽に楽しくクラシック音楽に触れていただくため、「メトロポリス・クラシックス」コンサートを開催いたします。

(3) 出張音楽会の開催

福祉活動に寄与するため、地下鉄沿線のほか、近郊の福祉施設、病院、学校等において「音楽の贈りものコンサート（出張音楽会）」を開催いたします。

(4) メトロ文化展の開催

地下鉄利用者等から絵画、写真及び文学に係る作品を募集して、優秀作品等を選び、以下のとおり「メトロ文化展」を開催いたします。

ア 児童絵画の部（メトロ児童絵画展）

地下鉄に興味を持っていただけるように、首都圏の小学生を対象に安全やマナー等の絵画作品を募集し、特選、入選、佳作、奨励の各賞を計600点選考のうえ、「メ

トロ文化展「児童絵画の部」として展示いたします。

イ 写真の部（メトロ写真教室・写真展）

撮影のテクニックの習得をはじめ、都内の名所旧跡、下町風情の残る地域などで撮影する喜びを体験していただくため、参加者を募集し、専門家による写真教室及び撮影会を年2回開催し、撮影作品を「メトロ文化展 写真の部」として展示いたします。

ウ 文学の部（メトロ文学館）

地下鉄の電車内で、文化的な雰囲気と潤いを感じていただくため、詩の公募を年2回行い、優秀作品を選び中吊りポスターで掲出するとともに、入選作品を「メトロ文化展 文学の部」として展示いたします。

(5) 沿線地域文化の紹介

地下鉄沿線の地域文化の振興や伝承支援に資するため、沿線地域における伝統工芸・芸能、文化遺産、祭り、各種文化行事等をホームページや小冊子で紹介いたします。

(6) メトロ歴史教室・歴史散歩の開催

都内に残る名所旧跡など歴史的文物を知っていただくため、参加者を募集し、専門家による説明と現地を探訪する歴史教室及び歴史散歩を年2回開催いたします。

(7) Echika 池袋ギャラリーの運営

駅におけるゆとりと潤いのある文化的空間の創造、更には文化芸術の薫る街を目指す地元地域の発展に寄与するため、設置された「Echika 池袋ギャラリー」の管理運営を行います。展示につきましては、地元豊島区と当財団が行います。

3 交通マナー事業

地下鉄利用者等に対する交通マナーの高揚を図るため、以下の事業を行います。

(1) マナーポスターの制作・掲出

交通道德、交通マナーの向上に資するため、交通道德宣伝用マナーポスターを制作し、毎月駅構内等に掲出いたします。

(2) 「地下鉄のはなし」の作成・配付

小学生で学ぶ社会科の参考資料として、地下鉄の歴史、役割、安全への取組等を解説した小冊子「地下鉄のはなし」を45万部作成し、都内全域と近県の小学生に配付するとともに、地下鉄博物館と東京メトロ全駅にも常置いたします。

(3) 鉄道教室の開催

地下鉄の知識を深めていただくため、小学生とその保護者を対象に参加者を募集し、施設見学及びセミナー等を行う鉄道教室を開催いたします。

(4) 啓蒙用グッズ類の配付

交通道德宣伝用啓蒙グッズを制作・購入し、各種イベント参加者、博物館入館者等に配付いたします。

以 上